



# 春日井ロータリークラブ

2023-24

クラブテーマ

「CHALLENGE FOR CHANGE」



世界に希望を生み出そう

会 長：古屋 義夫  
 副 会 長：加藤久仁明  
 副 会 長：野浪 正毅  
 幹 事：速水 敬志  
 会報委員長：岡本 博貴

事務局：春日井市鳥居松町 5-45  
 T E L : 0568-81-8498  
 F A X : 0568-82-0265  
 E-mail : ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp  
 H P : <https://www.kasugai-rc.org/>  
 例会場：ホテルプラザ勝川



2023年11月25日(土) 2572回(11月第3例会)

## 本日のプログラム

### 春日井ロータリークラブ 55周年記念講演

司会 渡辺 美香

- ・ 開会の辞
- ・ 春日井市長挨拶 春日井市長 石黒 直樹様
- ・ 会長挨拶 会長 古屋 義夫君
- ・ 講演 春日井市民病院 院長 成瀬 友彦様
- ・ 講演 国際ロータリー第2690地区 パストガバナー 松本 祐二君
- ・ 講演 iPS細胞研究所 所長 高橋 淳様
- ・ ビデオレター 山中 伸弥様
- ・ 閉会の辞 川瀬 治通君

	12月1日(金)	12月8日(金)	12月15日(金)	12月22日(金)
例会予定	第6回理事会 11:15~ 例会 12:30~ 祝福 年次総会	例会 12:30~ 卓話 地区 RYLA 委員 大橋 省吾君	クリスマス家族会 例会 18:00~18:15 クリスマス家族会 18:20~20:30	休会

**先週の記録**

**会長挨拶**

**会長 古屋 義夫君**

皆さん、こんにちは。日曜日(11/12)の地区大会にご参加いただき誠にありがとうございました。私自身、2023-24 地区大会はとても緻密に構成されたよくできた地区大会だと感じました。

また、私は全てのロータリー事業はロータリアンが愉しめそして友情を深められるものでなければならぬと考えています。

では、ロータリアンが愉しめる事業にするには、いったいどうしたらよいのでしょうか？これは自分でいっておきながら、なかなかと難解な設問だと思えます。私は今回 2023-24 年度の地区大会に参加しながら自分自身ですっとその答えを探していたような気がしています。

そして私見ではありますが現時点で以下のように悩み考えて結論づけましたのでご報告いたします。

○単調なものや刺激のないもの、過去と同じようなものをなるべく避けること。

○参加される方々がワクワクドキドキするように事業を組み立てることが必要不可欠。

しかし、これはよく考えてみれば当然の話かもしれません。どんなことでも同じではありますが自分自身でオリジナルに考えることは中々大変であり、とすれば考える必要がないという甘い誘惑に負けてしまい過去をなぞってしまうことが多いような気がします。

そうするとトータルでどんなに素晴らしい完成度の高い企画であろうともクリエイティブさのない単調なつまらないものを感じてしまいがちになるのではないのでしょうか？

きたる次年度 2024-25 年度は、我々春日井ロータリーが RI 2760 地区 地区大会を主幹いたします。RI 2760 地区のできるだけ多くのロータリー仲間においでいただき、かつ愉しんでいただけるよう、また友情を深められる場所となるようにメンバー一丸となり力を尽くさねばなりません。

また、最後になりますが 2023/11/25 には春日井ロータリークラブの 55 周年記念事業であります記念講演が開催されます。

当日はこの地域の皆さんに愉しんでいただくことはもちろんですが、私達メンバー1 人一人が記念事業を愉しめれば嬉しいな…と考えています。

メンバーの皆様は 2023/11/25 の動員のお願いは勿論ですが、役割分担をお願いする事もございます。どうぞロータリーの友情をもってご対応よろしくお願い申し上げます。

**幹事報告**

**幹事 速水 敬志君**

2023 年 11 月 17 日、第 2571 回 11 月第 2 例会の幹事報告をさせていただきます。まずは和田さん、温かみを感じる卓話ありがとうございました。そして小川さん、ロータリー研究委員会の発表ありがとうございました。まずは寄付控除できる企業にならないとダメですね。さて、ここの所めっきり寒くなり周りでもインフルエンザが増えてきました。いよいよ来週は 55 周年記念講演です。みなさん体調に留意されメンバー全員でお客様をお迎えしたく思いますのでよろしくお願い致します。そして持ち回理事会の返信が未だの理事役員の方は返信を忘れずをお願いします。

次週予告です。次週 11 月 25 日は金曜日ではなく土曜日です。55 周年記念講演ですでお間違いのないようお願いします。会場もここではなく春日井市民会館ですでお間違えなくお願いします。翌週 12 月 1 日は例会に先立ちまして理事役員会がございすので理事役員の方はお忘れなく。例会プログラムは祝福と年次総会です。翌週 8 日は地区 RY LA に向向しております大橋省吾くんの卓話です。15 日は年末恒例のクリスマス家族会です。

最後に例会ではございませんが 55 周年記念事業委員会が春日井市のロータリーの森に寄贈しましたベンチにてお披露目会を開催しますのでごぞつてご参加ください。以上、幹事報告でした。

**出席報告**

**委員長 長谷川久幸君**

会員	52 名	出席 31 名	出席率 59.2%
先々週の修正出席		休会	休会

**ニコボックス報告**

**委員長 長谷川久幸君**

- ロータリー研究。どんな話が伺えるか興味津々です。 古屋 義夫君
- 日曜日に南部ふれあいセンターでトラックカーニバルを行います。子ども向け交通安全イベントです。お孫さんを連れてお越しください。 速水 敬志君
- 地区大会多くのみなさま、来ていただきましてありがとうございます。 加藤久仁明君
- 年配グループの卓話、大期待です。 松尾 隆徳君
- 小川さんのロータリー研究委員会の報告、和田さんの卓話を楽しみに。 大西 信之君
- 卓話をさせていただきます。よろしくをお願いします。 和田 了司君
- 本日の卓話を楽しみに。
 

岡本 博貴君	野浪 正毅君	宅間 秀順君
森部 清孝君	北 健司君	近藤 太門君
三上 努君	下別府正樹君	菱川 一馬君
矢野 義博君	芝田 貴之君	加藤 茂君
朽本 正樹君	藤川 誠二君	山田 治君
風岡 明憲君	久米 正俊君	加藤 宗生君
中澤 一君	鈴木 克幸君	長谷川久幸君

○ご協力ありがとうございました。出席・ニコボックス委員会

卓話

小川 茂徳君

ロータリー研究発表

今回、研究内容を予算関係に絞り込んだ理由は各年度の予算の使い方に隔たりと理事会での審議の方法に不信感を抱いたからです。今年度ここへきて予算がなくなり会費の値上げ止むなしとの話も出てきています。予算の使い方に不信感がある中の値上げは、どこかの政府の様なそしりを受ける可能性もあるので避けるべきかと思われまます。

これは、この5年間の予算のながれを調べ、市役所へも3回訪問し部長・課長とも議長立ち合いの元調査・検証した研究の第一段階であります。

添付①にある様に近年の予算でも支出に隔たりがあり、金額差は大きくなりがちです。用途を明確にしてない項目は今一度精査し資金不足であるならば、今後は控えるべきです。

添付①

春日井RC 月次収支表

2022年7月～2023年6月

単位:円

		2022/7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022/1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
支 出	新春春日井マラソン大会	10,660												10,660
	春日井まつりわんぱくランド		100,880											100,880
	菊花大会協賛			30,880										30,880
	市民プールテレビ寄贈代						342,980							342,980
	わいわいカーニバル協賛金								50,880					50,880
	納涼まつり協賛金										30,880			30,880
	姉妹都市市民の会年会費												20,660	20,660
	交響楽団賛助会費												10,660	10,660
														0
														0
合計		10,660	100,880	30,880	0	0	342,980	0	0	50,880	30,880	0	31,320	598,480

春日井RC 月次収支表

2021年7月～2022年6月

単位:円

		2020/7月	8月	9月	10月	11月	12月	2022/1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
	姉妹都市市民の会	20,660											20,660	41,320
	スポーツ春日井AED寄贈	752,730												752,730
	菊花大会		30,880											30,880
	ポケット追加分				172,590									172,590
	子育てキャラバン隊						184,235							30,880
	納涼祭り協賛											30,880		30,880
	末 花火の会												500,880	500,880
	合計	773,390	30,880	0	172,590	0	184,235	0	0	0	0	30,880	521,540	1,713,515

添付②  
春日井ロータリークラブ様

寄付採納日	内容	金額	担当課
2019年4月10日	時計塔1基	250万円	道路課
2020年5月26日	文房具110セット	20万円	市民活動支援センター
2020年9月3日	ホケークス	14万9千円	教育総務課
2021年7月7日	AED2基	68万5,300円	スポーツ課
2021年12月9日	子育てサポートキャラバン隊用遊具	20万円	子ども政策課
2021年10月11日	ホケークS10セット	32万7,800円	教育総務課
2022年12月21日	液晶テレビ及び専用スタンド一式	28万7,980円	スポーツ課

添付②に明記された市役所の寄付目録ですが5年間で寄付した項目でこれは寄付証明の出る奉仕行為との事、これを抽出し今後の寄付活動の参考に来たらと思います。この書類に示された寄付金は寄付採納証明によって費用として計上出来、損金算入出来る。

此れによって自分の身近な行政の公共性のある奉仕活動にピンポイントで寄附が出来る上法人税等本来納税すべき税額より控除出来、利益の上がっている企業なら会社に負担なく社会奉仕の実績と名誉の一挙両得の手法だと思います。

春日井市との相談会の時にも出て来た話ですが、提案型の寄付活動は自分の身近なインフラ整備や施設機能の充実に寄せる思いを具現化して提案する事も出来るようです。

私も組立茶室を開発し学校に設置する事によって日本文化の伝承の一躍を担いたいと思い4年前に名古屋市に寄付し皆さんに喜んでもらいました。大型のふるさと納税だと考えます、様々なシーンで活用していけると嬉しいです。

結論、これを利用し予算の支出を代替えしてもらい予算の節約に活用出来ればと思います、提案するものであります。

参考までに春日井市の寄付要望の一覧表を添付します、参考にしてください。

ありがとうございました。

物品による寄附の受入れについて

No.	物品名	内容	総額(円)	単価(円)	備考
1	車椅子	配備車椅子老朽化のため	100,000~525,000	850,000~75,000	2台~7台
2	タープテント	保育園の日陰作り用	106,260	815,180	7基
3	プロジェクタースクリーン	子どもの家でのDVD上映用	126,940	8126,940	プロジェクター(75,900円)スクリーン(51,040円)
4	スライドテント	保育園の日陰作り用	128,000 259,000	8128,000 8259,000	240cm×240cm 300cm×450cm
5	スポットクーラー延長排気ダクト	体育館に既設の物が劣化しているため	150,000	875,000	2台
6	コインロッカー	スーツケースが入る大型のコインロッカー	158,200	8158,200	
7	ベンチソファ	文芸館ギャラリー内休憩用のソファ	175,600	887,800	2台
8	避難車	災害時の児童移動用避難車が老朽化しているため	200,000	8200,000	
9	傘袋スタンド	市民会館において催事の際の入替者の傘袋対応用	220,000	8110,000	2台
10	ベンチ	待合用ベンチ老朽化のため	300,000~1,090,000	8100,000~218,000	3台~5台
11	アルミ掲示板	保育園のポスター掲示場所不足のため	300,000	8300,000	
12	ソファ	利用者用ソファ老朽化のため	400,000	8200,000	2基
13	大型車椅子	肥満患者が使用できる車椅子	600,000	8300,000	2台
14	テレビ(65型有機EL)	市民にスポーツ情報等を発信するため	600,000	8600,000	天井からの吊り上げ費用込み
15	軽バン	貨物用自動車老朽化のため	1,060,000	81,060,000	
16	指導車	現指導車老朽化のため	1,472,246	81,472,246	
17	可搬式プラネタリウム	児童館備品として	2,000,000	82,000,000	MEGASTAR-Neo
18	電気自動車	現公用車老朽化のため	2,471,000	82,471,000	希望車種：三菱自動車工業株式会社 ミニキャブ・ミーブ
19	給水車	断水時における応急給水活動のため	20,000,000	820,000,000	
20	中型バス	シティバス2台を更新予定であるため	60,000,000	830,000,000	RR.10にシティバスの路線見直し予定
21	起震車	市民の防災意識及び地震発生時の対応能力の向上を図るため	69,300,000	859,300,000	移動式の地震体験車

## 卓話

和田 了司君

《私にとってのロータリーの魅力》

皆さん、おはようございます。まずは今日の卓話の機会をいただきましてありがとうございます。皆さんはロータリーにどんな魅力を感じておられますか、“奉仕の実践”とかいろいろあると思います。私にとってのロータリーの魅力は、大きく3つあります。一つ目は気の置けない友人と月数回必ずお会いできる場であることです。二つ目は、これまで自分には縁がなかった世界の発見です。例えば『宝塚劇場』、『劇団四季』等の観劇。会員ファミリーを交えた盛大な『クリスマス例会』などです。三つ目は地域のコトをいつもの自分と違う観点から俯瞰的に知ることができる。例えば勝川駅の時計塔等、青少年サッカー大会の後援とか。

今日は1番目のことをお話します。さかのぼること平成31年4月12日の例会の卓話は春日井文化フォーラムの日本自分史センター講師の芳賀倫子さんによる『やさしく学ぶエッセイ講座』の紹介でした。私はその年度は会長エレクトでありました。来期、会長として、毎週会長挨拶を書かなければならないことは、文章下手の私の憂鬱の種でした。「天の助け」というか、「溺れる者藁をもつかむ」というか、この講座を申し込むことにしました。更に一人では心細いので山田治さんに私のエッセイ講座応募のその動機を話し、一緒に付き合ってくれないかとお願ひしました。山田さんは快く、承諾してくれました。山田さんは、『私が会長になったときは協力するよ』と常日頃言うてくださっていたので、その流れで承諾してくださったと思っています。エッセイ講座は夕方2時間を10回受講します、友情の発露としてはかなりのことと思います。その分、私は大変嬉しかった。真の友を得た幸福感を味わいました。私にしてくれた山田さんの友情の発露に対して、私は山田さんには出来るだけしてあげたいと思っています。それは私にとって楽しいことでもあります。その後、私たちはこのエッセイ講座を無事終了しました。

今は、これまでのエッセイ講座の修了者が多くが集うエッセイクラブに二人とも入会しています。芳賀先生から与えられた例えば今月は『まだまだひよっこ』という『お題』にインスピレーションを感じながらエッセイを書き、16人くらいのメンバーで発表し合って楽しくやっています。まさにメンバーの方々一人一人の人生の一面を疑似体験するわけです。エッセイを書くということは私にとって億劫なことですが、他人のエッセイを聞くことはとても楽しいことです。この疑似体験は私の人生を楽しくさせてくれます。しかし、このお題というのは、曲者で自分として心のうちにしまっておきたいような過去を自らか書いてしまうこともしばしばです。

もう一つのロータリーならではの友情は私が会長の時の朽本さんとのご縁です。かつて朽本さんはもし私が会長になったときは私が幹事をしてもい

いよといったださっていました。数年後そのまさかが現実になってしまい彼が私の年度の幹事となることとなりました。そんな縁もあり、彼もまたロータリークラブで得た親友です。

朽本さんは私がエレクト、彼が副幹事の時、きたる我々の年度での行事候補を数多く企画してくださいました。私はその企画力にとっても感心しました。そして、それぞれの行事候補地に私を連れまわして、一軒一軒を実体験させてくれました。しかし、コロナの影響で残念ながら、その企画はほとんど実行できませんでした。すると彼はズームの例会を私に提案しました。まだズームが浸透していない時期でした、私も半信半疑で彼と20メートル位離れてはズームの使い方を試してみました。今は良き思い出です。そんなわけで私たちの年度は実例会とズーム例会の併用をしました。

ロータリークラブはたくさんの方々のご縁をいただいで私の人生を豊かににしてくれています。また、ロータリークラブの会員には、終身会員である先輩が多くいる。それが幾多あるクラブとか会と違うところです。終身の友と週に1回、いや最近は月数回ではあるが、逢って、食事と談笑が出来る場を提供してくれるというのは、ロータリーの素晴らしい魅力の一つと思う。私もいつのまにか、その恩恵を強く感じる年齢になってきたようです。私のつたない卓話もこれぐらいにしたいと存じます。ご清聴ありがとうございました。



点鐘 会長 古屋 義夫君



55周年記念実行委員会  
風岡 明憲君



委員会報告  
出席・ニコボックス委員会 長谷川久幸君



会長挨拶 古屋 義夫君



委員会報告  
R情報・R研修委員会 藤川 誠二君



卓話 小川 茂徳君



卓話 和田 了司君



幹事報告 幹事 速水 敬志君